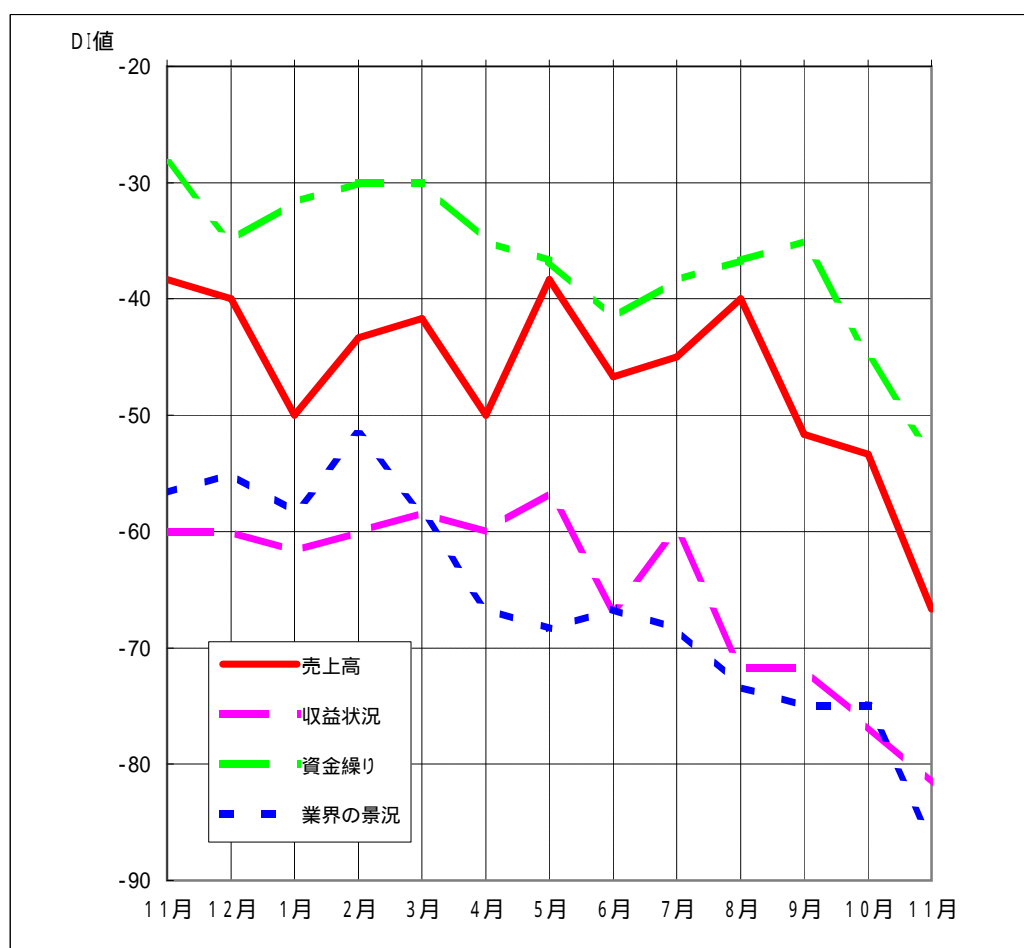


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成19年11月～平成20年11月

単位:ポイント



	H19		H20										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	-38.3	-40.0	-50.0	-43.3	-41.7	-50.0	-38.3	-46.7	-45.0	-40.0	-51.7	-53.3	-66.7
収益状況	-60.0	-60.0	-61.7	-60.0	-58.3	-60.0	-56.7	-66.7	-60.0	-71.7	-71.7	-76.7	-81.7
資金繰り	-28.3	-35.0	-31.7	-30.0	-30.0	-35.0	-36.7	-41.7	-38.3	-36.7	-35.0	-45.0	-53.3
業界の景況	-56.7	-55.0	-58.3	-51.7	-58.3	-66.7	-68.3	-66.7	-68.3	-73.3	-75.0	-75.0	-86.7

世界的な景気後退の中、11月のDI値は上記全項目で大幅に悪化した。「売上高」DIは前年同月より28.4ポイントの悪化で、平成16年10月度以来4年1月ぶりにマイナス60%台となった。「資金繰り」DIについては、25.0ポイントの悪化でマイナス50%台に推移。「収益状況」DIにおいては前年同月より21.7ポイントの悪化で平成10年10月度以来10年1月ぶりに、「業界の景況」DIは30.0ポイントの悪化で平成14年1月度以来6年10か月ぶりに、両項目ともにマイナス80%台へと転落した。

組合の特記事項から、製造業では、受注量の激減に加え経費コストの高値推移にも歯止めがかからず、月を追うごとに厳しさが増している。

非製造業においても、製造業同様、需要の低下、消費減退により販売不振状態が続いており、「売上高」DI・「収益状況」DI・「業界の景況」DI全てがマイナス80%台となっている。

新潟県内の中小企業は、世界的経済不況の影響により、不安定な状態が続いており、今後の経済動向が懸念される。